

# 東京活性化宣言!

東京都議会議員(小金井市選挙区)

## 西岡真一郎

2008(平成20)年1月

No.11

# 都議会レポート

発行 都議会民主党政策調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

## 平成19年第4回定例会・都政報告 新春特集号!

### 法人事業税3千億円の国税化に断固反対、異議あり!

平成19年第4回定例会が12月19日に閉会しました。地方税財政改革で、国のことを「盗人」と呼んでいた石原知事は、福田首相との会談で一転。「泣く子と地頭と政府には勝てぬ」と弁明し、都の法人事業税3000億円を移譲することを容認しました。都との共同戦線を張っていた愛知や大阪などの自治体にとっては、寝耳に水で、「地方分権に逆行する最悪の税源移譲だ」と憤慨するなど、地方税財政制度の抜本的な議論も不十分なままに取引が成立しました。

このほか、石原知事の公約撤回の代替案である低所得者への支援策をはじめ、新銀行東京の赤字拡大などが争点となりました。私たち都議会民主党は、石原都政に対して、是々非々の立場から、これらの問題を質し、都民の視線からさまざまな政策提案をしています。



▶ まったなしの都政改革!

### 税制改悪で「分権に逆行」! 西岡真一郎、財政委員会にて知事判断を問う!

▶ 都議会改革にも挑戦中!



政府・与党の選挙を意識した地方対策である「地方税制の改悪」が、石原知事と福田首相の間で合意されました。自治体の税収格差を是正するため、都など大都市圏の法人事業税の半分を国に移管し、税収の少ない県に配分する案について「税の抜本改革までの暫定措置」とすることを条件に受け入れました。

知事は「都の重要施策の実現に国は最大限協力する」とコメントしていますが、それが「分権に逆行」し、「税の原則」に反する税制改悪との交換条件になりうるのか大変疑問です。自治体間の税収格差の調整は、地方交付税という国税の役割であり、地方税を国に上

納させて行うものではありません。知事は、かねてより法人二税の国への移管を批判し、訴訟も辞さないと言ってきました。再三、国との「徹底抗戦」を確認したにもかかわらず、一転して合意とは政府・与党に押し切られたと言ってもいいでしょう。

この件に関して、西岡真一郎は12月13日の都議会財政委員会の質問に立ち、抜本的税制改革までの暫定措置であることや国と都の協議機関の設置が条件とされているが、いずれも明確な担保がないことから、最後まで反対を貫くべきであったことを主張しました。また東京都一般会計予算の5%弱を占める法人事業税3千億円の国税化による東京都予算と都民サービスへの影響、地方の自立の悪影響などを質し、併せて、参議院での法案否決を目指していくことを宣言しました。

### 西岡真一郎、都議会改革に挑戦中、都議会のあり方検討委員に就任! 政調費の透明化の実現を目指し、奮闘中!

都道府県議会や区市町村議会の議員に対して月ごとに支給されている政務調査費について、不適正な使用や不十分な情報公開をめぐり、各地で問題が生じています。西岡真一郎は、会派の議会改革プロジェクトチーム座長として、政調費が都民の税金である以上、その説明責任を果たすために、領収証の添付と公開の必要性を主張し、全国の事

例や判例等を研究検討して参りました。また、使途基準を定めることや、チェック機能を強化するために、第三者機関の設置を求めています。民主党の地道な説得で、この12月に、ようやく正式な各会派代表で構成される検討会の設置が決まり、西岡真一郎も会派代表として検討会委員に就任しました。

## 経営トップ辞任、赤字拡大 もはや死に体「新銀行東京」!

今年6月に引責辞任したばかりの新銀行東京の経営トップが11月には早くも交代。経営悪化は「不



慣れな人に任せただから」と述べてきた石原知事ですが、銀行のプロにはなり手が皆無で、後任に都の役人を送り込む始末です。また、11月30日発表の中間決算で、累積赤字が936億円まで膨らみました。

中小企業への融資は減る一方で、不良債権の処理費用はさらに増え、6月に策定したばかりの新中期経営計画にも狂いが生じています。石原知事は「今は銀行が経営改善の取組を着実に進めていくことが重要」と述べ、「追加出資はしない」と明言していますが、新銀行東京は、もはや死に体です。民主党は専門家からの意見を積極的に聴取する等の調査活動に取り組み、「都民に一番負担の少ない形で、新銀行東京から撤退する方法を早急に検討すべき」と主張しています。

## 低所得者の生活支援が実現 実態を把握し、施策の充実を!

知事の選挙公約であった低所得者減税が実行不能となり、急遽、浮上したのが低所得者安定化プログラムです。民主党は、当初から、低所得者対策は歳出による自立支援策で行うべきであると指摘し、思いつき減税には批判的でした。

内容は、これまで十分な支援策が講じられてこなかった低所得者に対し、職業訓練中の生活費扶助、資格取得支援金の貸付、母子家庭のホームヘルプサービス加算などを行うものです。これにより、従来から民主党が提案していた若年世代の非正規労働者、



▶都議会民主党の代表質問に答弁する石原知事

内容は、これまで十分な支援策が講じられてこなかった低所得者に対し、職業訓練中の生活費扶助、資格取得支援金の貸付、母子家庭のホームヘルプサービス加算などを行うものです。これにより、従来から民主党が提案していた若年世代の非正規労働者、

ネットカフェ難民への就労支援、所得向上支援が実現することとなりました。しかし、実態把握がなされないままである、対象を厳しく制限しすぎると利用できない低所得者が多くなる、区市町村を含め実施体制が未構築、といった点を指摘し、十分な検討を求めました。

## 豊洲の土壌汚染問題 民主党本部と連携し、参議院への 法案提出を実現!

豊洲地区の土壌汚染問題で、都は10mメッシュ・4100所の調査の実施を決めました。データの信頼性など不十分な部分もありますが、民主党の成果です。

このような中、都議会の民主党が、国に対して要望していた土壌汚染対策法の改正案が、参議院に提出されました。都の対策では、汚染土壌が残ることになり、市場を整備するには不十分ですが、この法案が成立すれば、抜本的な対策を講じていくことも可能です。都議会民主党は、国とも連携しながら、土壌汚染問題に取り組んでいきます。



◀12月18日、会派の市場調査にて東京都食肉市場を視察!

## CO2削減に実効性ある対策を 削減義務化・環境税を質す



石原知事は、CO2の削減に向けて、大規模事業者の削減義務化などの施策を打ち出していますが、経済団体からは、反対意見が相次いでいます。民主党は「知事が率先して、経済団体の理解と協力を得るなど、実効性のある温暖化対策に取り組むべき」と主張したのに対し、知事は「削減義務化をはじめ実効性のある施策を展開していく」と決意を表明しました。また、都独自の環境税の導入に対して、都は「引き続き、都税調での積極的な検討をお願い

経済団体からは、反対意見が相次いでいます。民主党は「知事が率先して、経済団体の理解と協力を得るなど、実効性のある温暖化対策に取り組むべき」と主張したのに対し、知事は「削減義務化をはじめ実効性のある施策を展開していく」と決意を表明しました。また、都独自の環境税の導入に対して、都は「引き続き、都税調での積極的な検討をお願い

いたい」と意欲を見せています。

## #8000は夜間頼れる実施体制に拡大を

#8000は、夜間、子どもの急な発熱などがあつた時に対応をアドバイスするのが小児救急電話相談です。核家族が多い東京では、いざというとき頼りになる存在ですが、平日は夜十時、休日は夕方五時で終わってしまいます。これでは、かかり

つけ医が閉まっている夜間や休日に相談することができません。民主党が「他に頼れる所がない夜間と休日、少なくとも小児救急が混雑している夜十二時から一時の時間帯までは実施すべきだ」と主張したのに対し、都は「課題として受け止め、時間延長について研究する」と答弁しました。



◀ 深刻な小児・産科医師不足にも対策中！

## 多摩振興には新ビジョン創造と地域特性の活用を！ 活性化には横田基地の軍民共用化が重要！

都は、オリンピック招致を契機に、東京の近未来図「十年後の東京」を発表しましたが、多摩に関する記述が少なく、改めて多摩の将来像を検討すべきと質しました。知事は多摩を首都圏の中核にすると述べましたが、多摩ビジョンの必要性を事実上否定しました。また、多摩の中心構想である産業集積地、多摩シリコンバレーも、いまだ具体的な姿が示されていないことから、民主党は、北欧スウェーデンのシリコンバレーを例に、「多摩がアジアのシリコンバレーとなるため、税やまちづくり、産学公の連携など諸課題に取り組むべきだ」と主張しました。さらに、2013年には多摩・島嶼を中心に東京国体が開催されるため、新しい国体や市町村振興の推進への尽力を求めました。民主党は、今後も多摩の振興に積極的に取り組んでいきます。

一方、知事は「横田基地の軍民共用化」を公約とし、日米関係者へ積極的な働きかけを行ってきました。しかし残念ながら、軍事運用等の課題が残り、米側の都合で継続協議となっています。民主党は、基地返還を最終目標に、都民の生活環境を守りながら、地域のまちづくりを進める立場で、早期実現への取り組みを求めてきました。今議会では、地域経済の活性化の視点から、多様な航空サービスの提供や横田基地周辺の交通網の整備も提言しています。



◀ 軍民共用化の早期実現を！

## 西岡真一郎の質疑<平成18年各会計決算特別委員会第2分科会>

### 10月19日(金)：メンタルヘルスへの対策強化を！【福祉保健局】

家族や会社等の幅広い分野において極めて深刻化しているメンタルヘルス（精神的疾患発症者の増大）に関し、都民の現状を確認し、東京都の取り組み策の強化と診療体制や相談窓口の充実策等を求めました。

### 10月24日(水)：青少年の災害時救急救命とボランティア活動の実践的訓練の実施を！【教育庁】

青少年の防災訓練の実態を確認し、さらに災害時における青少年の存在は大きな力になることから、学校において年齢に応じたボランティア活動は実践的訓練を通じて実施するよう求めました。

### 10月26日(金)：第2回東京マラソンに向けた諸課題の改善で、さらなる盛り上げを！【生活文化スポーツ局】

第1回東京マラソンに出場した経験を踏まえ、大会開催の効果や参加者等から指摘された様々な課題を検証し、その克服策を提案。第2回大会のさらなる活性化策を求めました。また東京都のスポーツ行政の推進を強く求めました。

## 西岡真一郎、視察研修の日々 (2007年10・11・12月)

### 【視察・研修・訪問先】

第49回北多摩地区消防大会、都立小金井公園(お月見の集い、なかよし市民祭り)、全日本トライアスロン選手権、東京都道路整備推進大会、北多摩ブロック親善ゲートボール大会、東京都聴覚障害者大会、都立小金井工業高校文化祭、名勝小金井桜移植式、江戸川競艇、東京消防庁消防学校生実科査閲式、市立小金井第一中学校60周年記念式典、小金井桜落葉回収大作戦、都道府県議会議員研究交流大会、チャレンジ三宅島モーターサイクルフェスティバル、4市親善テニス大会、ちびっ子ミニサッカー大会、警視庁警察学校、都立多磨霊園、薬物乱用防止教室(埼玉県中学校)、南小学校レッドイーグルス卒団式、東京都食肉市場、東京都大田市場、その他。



▲11月17日、会派代表にて三宅島の火山性ガス高濃度地区を視察!



▲12月16日、地元小金井にて第6回都政報告会を開催!



▲1月4日 東京消防出初式会場にて

2007年を象徴する漢字として、清水寺では「偽」が選ばれました。展望の持てる漢字で表現される新しい時代を切り開いていかなければなりません。「偽」ではなく、「真に本物」である社会を構築していかなければなりません。2007年は私にとりましては、新しい事にとくさん挑戦したことから、「挑」という漢字が最も象徴的でした。2008年は、暴走する官僚をコントロール出来ない政治を変えるため、何としても解散総選挙に大勝利して、政権交代による国民権内閣を築きあげ、政治を国民の手に取り戻さなければなりません。また都政改革や都議会改革に全力投球してまいります。皆様と力を合わせ、2008年を「飛躍」の年にしたいと決意しています。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

2008年を飛躍の年に!



## 都民相談、都議会見学をご希望の方は、お気軽にご連絡下さい!

西岡真一郎の役職・担当  
(2008年1月現在)

**常任・特別委員会・審議会** 財政委員会理事、オリンピック招致特別委員会委員、東京都薬事審議会委員

**会派** 政策調査会副会長、議会改革プロジェクトチーム座長、島嶼振興等調査会委員

**議員連盟等** 東京都議会花粉症対策推進議連幹事、東京都議会芸術文化振興議連幹事、東京都議会オリンピック招致推進議連委員、北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を図る東京都議会議員連盟委員、防災都市づくり推進計画・促進東京都議会連盟委員、東京都男女共同参画社会推進議連委員、FC東京をサポートする東京都議会議員の会委員、東京都議会日韓議連委員、東京都議会東京多摩国体推進議員連盟委員

**その他** 北多摩南部地域保健医療協議会特別委員

西岡真一郎プロフィール

●1969年武蔵野市生まれ・38歳/小金井市立南小・第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業/自民党本部事務局・新党さきがけ本部事務局・最年少の小金井市議会議員2期8年(無所属)、議会運営委員会委員長等を歴任。青年会議所や薬物乱用防止等の多数の地域活動に従事。2005年7月の東京都議会議員選挙にて初当選(民主党公認)。

●特技:阿波踊り、趣味:映画鑑賞、スポーツ:トライアスロン

●地域活動:小金井青年会議所監事、小金井市トライアスロン連合会長、子ども達を薬害から守る実行委員会事務局、小金井薪能理事等を務める。

西岡真一郎ホームページ  
ブログ毎日更新中!  
都議会西岡 で検索下さい!



●東京都庁連絡先  
〒163-8001  
新宿区西新宿2-8-1 議事堂5F 都議会民主党  
電話 03-5320-7230/FAX 03-5388-1784

●小金井事務所連絡先  
〒184-0004 小金井市本町1-6-2 アリスビル1F  
電話 042-386-5771/FAX 042-386-5773  
mail: DZG01370@nifty.com

ご意見欄 都政や小金井市の事等、ぜひお気軽にご意見をお寄せ下さい。送信先▶FAX:042-386-5773、又はmail:DZG01370@nifty.com

お名前	ご住所	お電話
-----	-----	-----